【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和1年5月30日(2019.5.30)

【公開番号】特開2019-59482(P2019-59482A)
【公開日】平成31年4月18日(2019.4.18)
【年通号数】公開・登録公報2019-015
【出願番号】特願2019-12088(P2019-12088)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｎ　2/68　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｎ　2/68

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月1日(2019.4.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
以上の課題を解決するため、請求項１記載の発明に係るシート装置は、
左右のバックサイドフレームを有するシートバックフレームと、
アームレストを支持するため、前記左右のバックサイドフレームのうち、少なくとも一方のバックサイドフレームに固定されるアームレストブラケットとを備え、
前記アームレストブラケットが固定されるバックサイドフレームは、上部サイドフレームと下部サイドフレームとに上下方向に二分割されていて、
前記上部サイドフレームの下端部と、前記下部サイドフレームの上端部とは重なるように一体化されていて、
前記アームレストブラケットは、前記上部サイドフレームと前記下部サイドフレームとの重畳領域に固定されていることを特徴としている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
請求項２記載の発明は、請求項１記載のシート装置において、
前記下部サイドフレームは、前記上部サイドフレームの外側に重なるように配置されていて、
前記アームレストブラケットは、前記重畳領域における前記下部サイドフレームに固定されていることを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項３記載の発明は、請求項１又は２記載のシート装置において、
前記アームレストブラケットは、前記アームレストを回転自在に支持しており、当該ア

ームレストの回転軸が前記重畳領域から前方に張り出すように、当該重畳領域に前記アームレストブラケットが固定されていることを特徴としている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項４記載の発明は、請求項１～３のいずれか一項に記載のシート装置において、
前記重畳領域近傍から他方のバックサイドフレームまで架け渡されたサイドフレーム用連結部材をさらに備えることを特徴としている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項５記載の発明は、請求項４記載のシート装置において、
前記サイドフレーム用連結部材は、前記アームレストブラケットと上下方向で重なる位置に配置されていることを特徴としている。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項６記載の発明は、請求項４又は５記載のシート装置において、
前記サイドフレーム用連結部材は、前記バックサイドフレームを貫通していることを特徴としている。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項７記載の発明は、請求項１～６のいずれか一項に記載のシート装置において、
前記アームレストブラケットは、中空状に形成されていることを特徴としている。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項８記載の発明は、請求項１～７のいずれか一項に記載のシート装置において、
前記バックサイドフレームは中空状に形成され、
前記アームレストブラケットは、前記中空状に形成されたバックサイドフレームに配置されていることを特徴としている。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
請求項９記載の発明は、請求項１～８のいずれか一項に記載のシート装置において、
前記シートバックフレームは、当該シートバックフレームに対して前後方向に傾動自在な可動フレームを備え、
前記アームレストブラケットは、前記可動フレームの左右方向外側に配置されていることを特徴としている。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
請求項１０記載の発明は、請求項９記載のシート装置において、
前記シートバックフレームは、リクライニング機構を備え、
前記可動フレームは、当該可動フレームに対して付勢力を付与する付勢機構を備え、
前記アームレストブラケットは、上下方向で、前記リクライニング機構及び前記付勢機構の間に配置されていることを特徴としている。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項１】
左右のバックサイドフレームを有するシートバックフレームと、
アームレストを支持するため、前記左右のバックサイドフレームのうち、少なくとも一方のバックサイドフレームに固定されるアームレストブラケットとを備え、
前記アームレストブラケットが固定されるバックサイドフレームは、上部サイドフレームと下部サイドフレームとに上下方向に二分割されていて、
前記上部サイドフレームの下端部と、前記下部サイドフレームの上端部とは重なるように一体化されていて、
前記アームレストブラケットは、前記上部サイドフレームと前記下部サイドフレームとの重畳領域に固定されていることを特徴とするシート装置。
【請求項２】
請求項１記載のシート装置において、
前記下部サイドフレームは、前記上部サイドフレームの外側に重なるように配置されていて、
前記アームレストブラケットは、前記重畳領域における前記下部サイドフレームに固定されていることを特徴とするシート装置。
【請求項３】
請求項１又は２記載のシート装置において、
前記アームレストブラケットは、前記アームレストを回転自在に支持しており、当該アームレストの回転軸が前記重畳領域から前方に張り出すように、当該重畳領域に前記アームレストブラケットが固定されていることを特徴とするシート装置。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか一項に記載のシート装置において、
前記重畳領域近傍から他方のバックサイドフレームまで架け渡されたサイドフレーム用連結部材をさらに備えることを特徴とするシート装置。
【請求項５】
請求項４記載のシート装置において、
前記サイドフレーム用連結部材は、前記アームレストブラケットと上下方向で重なる位置に配置されていることを特徴とするシート装置。
【請求項６】
請求項４又は５に記載のシート装置において、
前記サイドフレーム用連結部材は、前記バックサイドフレームを貫通していることを特徴とするシート装置。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか一項に記載のシート装置において、
前記アームレストブラケットは、中空状に形成されていることを特徴とするシート装置。
【請求項８】
請求項１～７のいずれか一項に記載のシート装置において、
前記バックサイドフレームは中空状に形成され、
前記アームレストブラケットは、前記中空状に形成されたバックサイドフレームに配置されていることを特徴とするシート装置。
【請求項９】
請求項１～８のいずれか一項に記載のシート装置において、
前記シートバックフレームは、当該シートバックフレームに対して前後方向に傾動自在な可動フレームを備え、
前記アームレストブラケットは、前記可動フレームの左右方向外側に配置されていることを特徴とするシート装置。
【請求項１０】
請求項９記載のシート装置において、

前記シートバックフレームは、リクライニング機構を備え、
前記可動フレームは、当該可動フレームに対して付勢力を付与する付勢機構を備え、
前記アームレストブラケットは、上下方向で、前記リクライニング機構及び前記付勢機構の間に配置されていることを特徴とするシート装置。